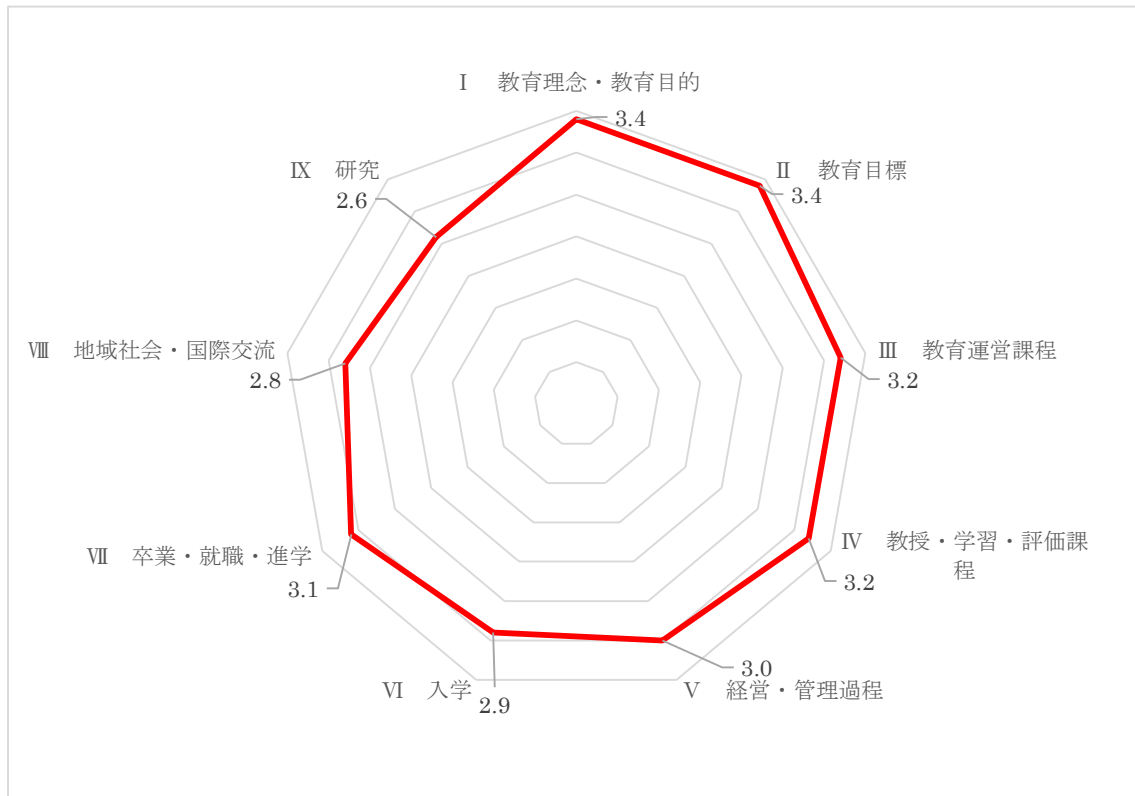


令和4年度 自己評価結果

1. 活動内容（本年度目標）

- ① 国試・資格試験対策とスムーズな学内運営を図ることができる
- ② 学生の現状を把握し、個々の学生にあった指導ができるよう、検討し実施することができる
- ③ 演習教材の導入により、カリキュラム改正に考慮した、効率的な教授方法について検討することができる
- ④ 遠隔授業の導入、Google Classroomの導入により教育効果を高めることができる
- ⑤ 効果的な学生募集活動を図ることができる

2. 結果



令和4年度 学校関係者評価

【項目ごとの学校関係者評価・意見】

項目	学校関係者評価
I 教育理念・教育目的	自己評価について支持する。 教育理念や教育目的の共有を今後も継続して行っていただきたい。
II 教育目標	自己評価について支持する。 今後も継続して新規入職者への研修、新入生ガイダンス等を通じて教育目標の周知徹底をしていただきたい。
III 教育運営課程	自己評価について概ね支持する。 評価項目について、実習先施設においては学校からの自施設の評価をもらい実習環境改善に繋げていきたいので、学校内の教育活動と実習先での教育活動に分けて自己評価していただきたく検討をお願いしたい。
IV 教授・学習・教育課程	自己評価について支持する。 電子カルテシステムやシミュレーション人形を導入することで学習への動機付けと支援を行っているとのことだが、今後も継続して教育環境の充実に努めていただきたい。
V 経営・管理課程	自己評価について支持する。 今後も計画的に施設設備の整備改善に努めていただきたい。
VI 入学	自己評価について支持する。 学習環境や実習環境等の学生へのサービスに関する部分を良くすることで新入生の学校への満足度が向上するよう努めて欲しい。
VII 卒業・就職・進学	自己評価について支持する。 ホームカミングの土日実施も含め、卒業生との関係が継続できるよう検討をお願いしたい。
VIII 地域社会	自己評価について支持する。 学校がある香日向地区での地域交流に限らず、他の地区でも地域交流をして欲しく、検討をお願いしたい。
IX 研究	自己評価について支持する。 学生への看護研究の指導や授業準備を通じて最新の看護知識の修得に個人では努めているものの、内容の深化のためにも、学校としてもネットを利用した研究の推進等、環境の整備に努めて欲しい。